

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	亀岡の未来を照らす地方創生プロジェクト	実施期間	H27年度	テーマ	その他（地方創生）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	京都府の球技専用スタジアムを核とし、アユモドキをはじめとする豊かな自然環境を活かしたまちづくりを推進することで、新たな交流と賑わい拠点が創出できるものとする。さらに本市が誇る保津川下り、トロッコ列車、湯の花温泉などの観光スポットを連携させることで、賑わいに相乗効果をもたらし、亀岡だけでなく、京都府域の均衡ある発展及び魅力ある地域づくりにつなげるため、各種事業を推進する必要がある。						
プロジェクトの目的及び概要	アユモドキの保護をはじめとする環境対策を行うとともに、大規模スポーツ施設関連事業及びスポーツ振興を推進することで、青少年の健全育成や経済・観光の活性化に繋げ、にぎわいの創出等を図ることで、京都府域の均衡ある発展を目指す。						
	総事業費（千円）	73,539	本年度事業費（千円）	73,539	交付金額（千円）	29,330	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）	
市町村 実施 事業	アユモドキの保護増殖と環境調査事業	交付対象	国の天然記念物で希少野生動植物に指定されているアユモドキの保護増殖を推進する。			アユモドキ生息環境調査、繁殖実証実験結果に基づく生息環境の把握・モニタリング業務等	
	大規模スポーツ施設関連地下水位観測調査事業	交付対象	国の天然記念物で希少野生動植物に指定されているアユモドキ等の環境保全対策の一環として地下水位観測調査を実施			5箇所を実施	
	明智光秀ゆかりの地推進事業	交付対象	明智光秀の大河ドラマ誘致等の活動を通して、観光誘客とまちの活性化を図る。			チラシ22,000枚、シール、ステッカー10,000枚、ポスター300枚	
	空き家等対策事業	交付対象	市内にある空き家等の状況を把握し、今後の対策及び計画策定等の基礎資料として活用する。			空き家の概数を把握し、地図上に示しリストとして整理	
住民 協働 事業	スポーツ振興事業	交付対象	市民応援バスツアー等のスポーツ振興事業を実施			H27 サンガ応援バスツアー 9回、参加者 169人 サンガタウン見学 1回 48人	
	京都亀岡ハーフマラソン大会振興経費	交付対象	大会の開催による地域の活性化とまちのにぎわい創出を図る。			H27 参加者3,400人	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	観光入込客数 H26 2,408,467人から増加		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)		観光入込客数 H27 2,679,348人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	明智光秀の大河ドラマ誘致活動等を通じた観光誘客により観光入込客数の増加を図ったことで、まちの活性化に繋がった。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

成果指標②	成果指標の目標数値	スポーツ教室参加者人数 H26 2,239人から増加		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)	スポーツ教室参加者人数 H27 1,498人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	募集時期を5月から4月に変更したことで、例年との変更点が浸透していなかったため応募数が伸び悩み、参加人数の目標数値を下回ったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	地域におけるアユモドキ（個体群）の保護		成果指標の実績値 (平成28年3月31日時点)	外来魚駆除活動2回実施（ブラックバス187匹、ブルーギル592匹） 濁水時のアユモドキ救出活動33尾救出
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	外来魚駆除を始めとして生息地の保全、再生整備実験による成育環境の整備、モニタリング等の調査により個体群の保護活動ができた。また、専門家による定例調査によると、アユモドキの推定個体数も昨年度と比べ増加しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>経済・観光等の活性化、にぎわいの創出だけでなく、京都府域の均衡ある発展、アユモドキを含む環境保全、スポーツを通じた青少年の健全育成を推進した。スポーツ教室参加人数については、適切な広報等を実施することにより、参加者の増加を図る。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	スポーツ教室やハーフマラソン大会等のスポーツイベントの開催と実施を通して、市民や地域の間で連携が生まれたことにより、相互に協力し活動するための基盤が形成された。			
	その他の成果	国の天然記念物で希少野生動植物に指定されているアユモドキに係る各種実験・調査を実施することにより、アユモドキの保護増殖を推進した。 サッカー等のスポーツを通じた青少年の健全育成を推進した。 明智光秀の大河ドラマ誘致活動等を通じた観光入込客数の増加を、まちの活性化に繋げることができた。			

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	セーフコミュニティ推進プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	亀岡市は安全・安心のまちづくりを第一として、平成20年3月に日本初のWHOセーフコミュニティ（SC）認証を取得、平成24年2月に国内初となるセーフコミュニティ再認証を取得した。モデル地区をはじめ多くの地域住民との協働により、誰もがこころの通い合う安全で安心して暮らせるまちづくりを進めている。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもや高齢者の事故やけが、また虐待や自殺、さらには犯罪や自然災害など、地域社会における安全・安心をめぐるさまざまな課題や不安に関わって、これらの問題を原因とする不慮の事故の予防や犯罪に対する対応策として事業を実施する。							
	総事業費（千円）	326,440	本年度事業費（千円）	68,383	交付金額（千円）	26,660		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	防犯カメラ設置事業	交付対象	盗難などの犯罪や事故を未然に防止し、安全安心なまちづくりを推進する。			設置箇所：JR並河駅1台、市道南つつじヶ丘1号線1台		
	不法投棄対策事業	交付対象	不法投棄の未然防止及び不法投棄物の早期撤去			不法投棄物処理件数56件		
	亀岡市高齢者運転免許証自主返納支援事業	交付対象	運転に不安を感じる方を対象に、自主的に運転免許証の返納を促す。			運転免許証返納件数249件		
住民 協働 事業	セーフコミュニティ推進事業（総括）	交付対象	事故やけがは偶然に起こるものではなく、予防することができるとい理念のもと、地域住民と行政などの協働により、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりを推進する。			亀岡署管内での交通死亡事故「0」が840日継続		
	インターナショナルセーフスクール推進事業	交付対象	ISSの活動を通して誰もが安全に、安心して過ごせる学校・保育所づくりを推進する。			インターナショナルセーフスクールフォーラムの開催 ISS認証取得 10カ所 （小学校1カ所、民間保育園1カ所、市立保育所8カ所）		
	学校安全対策員配置事業	交付対象	児童生徒の安全確保のため、学校安全対策協力員（来校者受付等）を配置する。			学校安全対策協力員設置校：小学校18校、中学校8校		
	子どもを守る安全向上事業	交付対象	学校におけるISS活動を通して、交通安全意識の向上と安全な教育環境づくりを推進する。			学校遊具撤去等修繕：小学校16校		
	公衆街路灯助成金	交付対象	安全・安心な生活環境の整備促進を図るため、公衆街路灯電気代と公衆街路灯LED化の助成を実施する。			8,888灯の電気代助成金、1,123灯のLED化助成金		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

成果指標①	成果指標の目標数値	平成27年度インターナショナルセーフスクール（ISS）のWHO認証に向けた継続した取り組み		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)	ISS認証取得施設 10カ所 (小学校1カ所、民間保育園1カ所、市立保育所8カ所)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	亀岡市内10カ所の小学校・保育所(園)が、世界基準の安全安心を獲得するためISSの8つの指標達成に向けてチャレンジした結果、平成27年中にWHOの認証を取得することができた。今後もISS活動を通して、幼少期からの安全・安心への意識を高める。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	犯罪発生抑制 (街頭犯罪認知件数 H21:513件 → H27減少)		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)	平成27年度街頭犯罪認知件数：253件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	防犯カメラの設置等の取り組みにより、盗難などの犯罪や事故を未然に防止することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置個所の増設 (防犯カメラ設置数 H24:5台 → H27:2台)		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)	平成27年度防犯カメラ設置数：2台
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	市民が安心して暮らせる犯罪や暴力のない安全で住みよいまちづくりの推進に努めた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	安全・安心のまちづくりを市民との協働により実現していくため、より多くの市民、地区等がセーフコミュニティの推進に参画する仕組みづくりを構築運営し、地域課題の解決に向けた活動をさらに進めている。今年度も子どもや高齢者の事故やけが、また虐待や自殺、さらには犯罪や自然災害など、地域社会における安全・安心をめぐるさまざまな課題や不安に関わって、これらの問題を原因とする不慮の事故の予防や犯罪に対する対応策として事業を実施した結果、街頭犯罪認知件数の減少を達成することができた。また、安全・安心への意識を高める継続した取り組みにより、平成27年度インターナショナルセーフスクール（ISS）のWHO認証を取得することができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	セーフコミュニティ活動（交通安全や防犯対策等）を通じて、京都府や京都府警、京都中部広域消防組合とより深い連携体制を構築することができた。			
	住民の自治意識を高める成果	より多くの市民、地区がセーフコミュニティの推進に参画する仕組みづくりを行い、モデル地区自治会での活動を自治会単位で推進し、地域活動を展開した。			
	リーディング・モデル成果	亀岡市が国内初のセーフコミュニティ認証を取得した後、国内では新たな認証自治体が次々と誕生している。亀岡での活動やその経験等を全国へ発信することで、亀岡市のセーフコミュニティの取り組みがリーディングモデルとしての役割を果たしている。			
	広域的波及成果	平成27年度は12団体（過去実績数42団体）をセーフコミュニティの視察で受け入れ、現在まで37都道府県から視察があった。セーフコミュニティ活動に取り組む自治体だけでなく、日本全国に取り組みが波及している。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	亀岡市居心地向上プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市の人口は、平成13年以降減少に転じ、少子高齢化が進展している。このため、これまでの人口増加を前提とした地域社会や経済システムのあり方について見直しを行い、生活の質を高めるための取り組み、そして将来にわたって安全・安心な生活を継続して営むことのできる地域社会を構築していくことが大きな課題となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもや子育て世帯が暮らしやすく、また、子どもから高齢者まで誰もが生涯を笑顔で過ごせる定住都市の理想を実現していくため、温もりを感じられる住み良さをまちぐるみで創造する。また、地域で支え合う環境づくりを進め、福祉と介護等の連携を図る。							
	総事業費（千円）	1,031,725	本年度事業費（千円）	143,406	交付金額（千円）	54,555		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	公立保育所ISS推進事業	交付対象	公立保育所におけるハイリスク個所の点検、修繕及び安全確保のための施設整備を行うことで、安全・安心な保育所づくりを推進する。			公立保育所のハイリスク個所の修繕実施（8園・32カ所）		
	障害児保育事業	交付対象	民間保育園における障害児保育の充実と児童の健全な発達を助長するため、障害児保育事業に要する経費を支援する。			民間保育園の障害児保育事業に対する補助		
	民間保育園施設運営費支援事業	交付対象	保育を委託している民間保育園7園に対し、健全運営を図るため施設運営費に対して支援を行う。			民間保育園7園に対する運営補助		
住民 協働 事業	福祉コミュニティづくり支援事業	交付対象	地域福祉の推進を図るため、地域での助け合い・支え合いの実践活動を行う福祉コミュニティづくりの結成・活動に対して支援を行う。			平成27年度地区社協12カ所 地域福祉推進大会（市民福祉のつどい）に対する運営補助		
	障害者就労支援促進事業	交付対象	障害者の地域での就労を確保するとともに、さらなる事業の開拓を行う。また、市の業務の一部を委託することで障害者の就労支援を促進する。			就労支援委託 物品：5件（1,246,533円）、役務：14件（3,965,206円）		
	生きる喜びを贈る敬老事業	交付対象	高齢者の交流や社会参加を促進するため、地域の敬老事業に対して支援を行う。			各自治会・老健施設で独自に実施される敬老会事業への支援（32実施主体、対象者10,754人）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

成果指標①	成果指標の目標数値	地区社協設立（H27 11カ所）、児童の病院受診件数（H27 減少）、保育所の入所児童数（待機なしを維持）、障害者就労施設等が行う物品・役務等の提供目標金額（H27 4,720千円）、介護保険地域密着型サービス事業所数（H27 16事業所）		成果指標の実績値 （平成28年3月31日時点）	地区社協設立（12カ所）、児童の病院受診件数（微増）、保育所の入所児童数（待機なしを維持）、障害者就労施設等が行う物品・役務等の提供金額（5,212千円）、介護保険地域密着型サービス事業所数（14事業所）	
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	各数値目標の達成に向けて、事業を推進してきた結果、温もりを感じられる住み良いまちづくりを推進することができたため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>公立保育所における保育施設環境の充実を図るとともに、民間保育園における障害児保育事業や施設運営を支援することで、安全で安心して過ごせる保育環境を整備し、若い世代が夢を持って子どもを産み育てられる環境づくりを進めることができた。また、地域福祉の推進と地域コミュニティ活動を支援することで、「健康で元気あふれるまちづくり」を推進することができた。障害者就労支援事業においては、障害者の雇用促進、自立促進に繋げることができた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	住民の自治意識を高める成果	各自治会や地域住民と連携を図ることで、市民一人ひとりの地域活動に対する意識が高まり、「健康で元気あふれるまちづくり」に繋がった。また、福祉コミュニティづくりや敬老事業を支援することで、地域福祉の促進や地域コミュニティ活動の活性化に繋がった。				
	リーディング・モデル成果	インターナショナル・セーフスクール（ISS）推進事業により、公立保育所において外傷の頻度と原因を分析し、予防策を講じることで安全で安心して過ごせる保育所づくりを進めることができた。また、障害者就労支援事業により、障害者の雇用促進、自立促進を図ることができた。				

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	「かめおかつ子」育成プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	学校教育	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	学校教育・社会教育・人権教育などの教育ニーズが多種多様化する中、中・長期的に社会の姿を見据えながら、地域の実情に応じた教育を推進していくことが重要視されている。学校教育においては、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動できる児童生徒を育成するため、一人ひとりの個性と学力を伸ばすとともに、時代の要請に対応した教育内容の充実に向けた取り組みが必要となっている。また、幼児期からの情操教育、文字の習得等に取組むことが重要であり、親子とともに取り組む事業展開が望まれている。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもたちが生きていく上で必要な基礎的・基本的な力を身につけ、問題をよりよく解決する資質や能力などの「質の高い学力」の育成と、豊かな人間性を育む「心の教育」の充実に向けて、学校、家庭、地域社会が連携した取り組みを進めることにより、本市の教育が目指す子ども像の実現を図る。また、幼児期から読み聞かせを実施することで集中して聞く力を訓練し、情操教育、文字の習得等の実現を図る。							
	総事業費（千円）	24,478	本年度事業費（千円）	1,999	交付金額（千円）	802		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	生きる力を育む開かれた学校づくり推進事業	交付対象	学校や地域の実情に応じた学校づくりを推進するため、各学校の創意工夫で特色ある学校づくりに対する取り組みを促進する。			取組実績校：小学校18校、中学校8校		
	ブックスタート事業	交付対象	赤ちゃんと保護者に絵本を通じた心触れ合う楽しい体験と一緒に、赤ちゃん絵本を1冊贈るなど「ブックスタート事業」の充実を図る。			ブックスタート事業21回、対象者へ670冊配布（配布対象者：11カ月健診対象乳児親子）		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	ブックスタート事業実施回数：24回			成果指標の実績値 （平成28年3月31日時点）	ブックスタート事業実施回数：21回		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	ボランティアによる年間21回の絵本読み聞かせを行ったことで、親子で本に親しめる環境を提供できたため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	11カ月健診時において、絵本の読み聞かせや絵本の紹介・絵本プレゼントを行い、絵本を使ったふれあいの子育てが広がるきっかけづくりとなった。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	市立小・中学校において、各学校や地域の実態に応じ、創意工夫を発揮した教育活動を展開し、自ら学び、考え、判断しようとする意欲と能力を持った児童生徒の育成を図った結果、生きる力を育む開かれた学校づくりの推進に資することができた。
	その他の成果	幼児期より読み聞かせ事業を実施することで、家庭での親子読書の推進につなげている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	にぎわいまちづくり創出プロジェクト	実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	地域のにぎわい創出	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	豊かな自然や観光資源に恵まれた亀岡は、京都市縦貫自動車道が全線開通し高速道路ネットワークも充実するなど、観光誘客に有利な条件を備えている。しかし、長年にわたり「保津川下り」「トロッコ列車」「湯の花温泉」のいわゆる三大観光に依存する状況が続いてきたことから、今後は、三大観光を発展させつつ、新たな観光資源や特産品等の開発、地域ブランドの確立等を図ることで、農業、商・工業、観光産業などの連携・交流による産業振興を進める。						
プロジェクトの目的及び概要	三大観光をはじめ、自然や歴史資源の発掘、見直しを行い観光に対する市民意識の啓発と市民や民間団体による主体的な取り組みを促進し、継続性、発展性のある観光振興を図る。						
	総事業費（千円）	170,693	本年度事業費（千円）	39,947	交付金額（千円）	11,763	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）	
市町村 実施事業	JR交通広告観光によるPR事業	交付対象	JR沿線に亀岡をPRする交通広告を掲載し、観光入込客の増加を図る。			JR車両への広告媒体の掲示（京都線、神戸線等）及びJR西日本発行おでかけ情報誌「西Navi」へのイベント情報掲載等	
	観光地情報PR推進事業	交付対象	るるぶ京都亀岡及びるるぶ京都亀岡アプリを作成し、観光地としての情報を発信する。			るるぶ京都亀岡及びるるぶ京都亀岡アプリによる情報発信	
	コミュニティバス運行事業	交付対象	JR亀岡駅・JR馬堀駅を起点としてその周辺に存在する公共施設などを公共交通のネットワークで結びバスの総合的な利用促進を図るとともに市内観光としての利用促進も図る。			コミュニティバス運行业務委託	
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	観光入込客数 H26 2,408,467人から増加		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)		観光入込客数 H27 2,679,348人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	るるぶ京都亀岡・るるぶ京都亀岡アプリを作成し、イベントや観光地の情報発信を行うことにより、観光入込客数が増加し、まちの活性化に繋がった。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	コミュニティバス乗車人数 (H25実績:98,302人→H27:99,000人)		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)		102,639人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	JR亀岡駅周辺の市街地を公共交通で結ぶことで市民の移動手段を確保し、JRや路線バスと連携したダイヤ編成等、一層の利便性向上を図った。JR馬堀駅を起点に篠地区の交通空白地の解消、亀岡市立病院へのアクセス向上を図るため、新たなバス路線の試験運行を始めた。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>三大観光をはじめ、自然や歴史を活かした観光資源等を市内外に積極的にPRしたこと、また、アプリ等を使用し情報発信をしたことにより、観光客の増加に繋がった。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>亀岡祭や平和祭花火大会など亀岡のイベントとの連携を図ることにより、観光入込客数の増加に繋がった。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>自治会、地域住民、協議会などからの意見が反映された取り組みのため、自治意識が高まり、地域活動に繋がる。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>観光客増加に伴い、入湯税等の税収が増加した。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>市民の重要な生活交通の維持確保に努めるとともに、市内観光としての利用促進に努めた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	がんばる元気農業プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	農業振興	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	府内でも有数の広大な農地を有することから、京都の穀倉地として高い農業生産力を誇ってきたところであるが、全国の農村と同様に、農業従事者の減少や高齢化、担い手等の後継者不足、耕作放棄地の増加、農産物価格の下落による農業所得の低下など多くの課題を抱えている。今後は、農業の担い手の育成と地域の実態に応じた営農システムの確立、担い手への農地集積などを行うとともに、国土保全の観点による農地の保全や環境への負荷を軽減した循環型農業の推進、農業・農村や食への理解を深める多様な取り組みが必要である。							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者のコスト削減のための助成を行い、農業所得の低下を防ぐ。 ・ 担い手不足解消のため、担い手育成のための事業を促進する。 ・ 生産基盤を整備することにより、農作物の生産拡大を図る。 							
	総事業費（千円）	65,850	本年度事業費（千円）	9,765	交付金額（千円）	3,906		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	カーボンマイナスプロジェクト推進事業	交付対象	放置バイオマスの炭化技術を農業に活用したブランド野菜を確立し、持続可能な社会システムを構築するための調査研究委託を行う。			今後、カーボンマイナスプロジェクトを推進するうえで必要となるマーケティングや収量増加、担い手の拡大等のための調査を委託した。		
住民協働事業	安全・安心のエコ農業推進事業	交付対象	市内で製造された畜産堆肥の施用に対して助成を行うことで、安全・安心な農産物の生産を支援する。			営農組合等32組織への助成を実施した。		
成果指標①	成果指標の目標数値	さくら有機及び炭堆肥販売量と施用量 H26年度 3,887.6㎡ →H27年度 増加		成果指標の実績値 (平成27年度)		H27年度 3,493.1㎡		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値には到達しなかったが、堆肥は毎年やると田畑が肥えすぎるため必ずしも増加するとは限らない中で、当初目標の近似値まで到達したことに加え、堆肥を利用するクールベジタブルの販売額が増加したため。(H26年度11,428千円→H27年度15,516千円)				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>市内農業者が安全・安心な農産物を生産し、食の安全・安心を向上させるとともに、自然と調和した農業を推進した。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>市民へ安全・安心な農産物を提供することにより、新たな担い手の増加及び特産品の振興にも繋がった。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>安全・安心のエコ農業の推進を図り、広く一般市民にエコ農業の考え方が広まったことで一層の販売拡大に繋がった。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	「協働のまち 亀岡づくり」プロジェクト		実施期間	H22年度～H27年度	テーマ	市民協働	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	亀岡市においては、多様な市民活動が展開され、協働の取り組みも広がりつつあるが、その一方でまちづくりに対する意識が多様化し、居住している地域やその取組年数などによって活動力に大きな違いが見受けられる。そして、市民活動に対してすべての人が認識しておらず、市民活動団体の人材、資金、情報発信等の不足が課題となっており、それぞれの組織が組織体制の強化連携を求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	「協働のまち 亀岡づくり」を目指し、「亀岡市まちづくり協働推進指針」に基づき実施計画の着実な推進を図るため、市民と行政とが協働し、今日まで培ってきた生涯学習のまちづくりを土台として、さまざまな社会の生活環境や学習環境などの整備・充実を図ることを目的とする。							
	総事業費（千円）	67,785	本年度事業費（千円）	5,151	交付金額（千円）	2,059		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	市民活動中間支援機能充実事業	交付対象	かめおか市民活動推進センター等運営体制強化により、団体間のネットワークの強化促進、協働のまちづくり情報の発信など当該センターの機能強化を図り、NPOや市民活動団体等が参画・利用しやすい仕組みづくりを推進する。			団体間のネットワーク強化推進と協働まちづくり情報の発信		
	コミュニティ推進事業	交付対象	生涯学習施設（自治会館等）整備事業補助、市広報掲示板設置委託			生涯学習施設整備事業補助 新築1カ所 プレハブ購入1カ所 改修5カ所		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	市民活動中間支援機能充実に向けた相談件数 65件（H26 50件）		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)		相談件数 62件		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標値の65件は達成できなかったが、目標の近似値までは増加したため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	かめおか市民活動推進センターの運営体制の強化を図ることで、情報発信拠点・コーディネート拠点として、NPO法人・市民団体等に対する相談や支援により、市民活動の質の向上・活性化に寄与し、また、登録団体の交流の場として団体間・住民間の連携強化に繋がった。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	かめおか市民活動推進センターの機能強化とともに、生涯学習施設のガレリアかめおか等での生涯学習環境の充実や各種生涯学習講座の実施により、市民の生涯学習・市民活動の活性化を図ることができた。
	住民の自治意識を高める成果	各地域の生涯学習施設であり、住民活動の拠点である自治会館、集会所等の整備、また、地域の行事等を住民に周知する掲示板の整備を行うことで、より一層の住民活動の活性化を図るとともに、地域のつながり、連携を強化し、住民の自治意識の向上に寄与することができた。
	広域的波及成果	NPOや市民活動団体の交流促進を図ることで、地域間の交流や市全体にわたる市民活動の活性化に繋がった。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	3つの京都推進プロジェクト（亀岡市）		実施期間	平成27年度	テーマ	その他（3つの京都）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に以下の課題があり、これらの克服を図る。 【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。産業・観光を振興することを目的とする。							
	総事業費（千円）	17,594	本年度事業費（千円）	17,594	交付金額（千円）	9,262		
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	ドローン空撮、情報発信事業	交付対象	ドローンを活用し、亀岡の美しい四季の移ろい等を撮影し、亀岡の魅力を情報発信する。			ドローンの購入		
	「丹波七福神」への石の道標設置事業	交付対象	「丹波七福神」7寺へ石の道標を設置し、観光案内を充実する。			「丹波七福神」7寺へ石の道標を設置		
	ハイキングコース整備、観光案内板等整備事業	交付対象	市内ハイキングコースの整備や観光案内板等の整備を行う。			市内ハイキングコースの整備と観光案内板等の設置		
	るるぶ京都亀岡及びるるぶ京都亀岡アプリ作成業務	交付対象	第3弾「るるぶ京都亀岡」を作成するとともに、同アプリ版もあわせて作成する。			るるぶ京都亀岡及び同アプリ版を作成		
	七谷川桜ライトアップ（街路灯設置）事業	交付対象	七谷川の桜をライトアップしている街路灯の修繕を行う。			照明器具灯具修繕及び幹線電線管修繕を実施		
	かわまちづくりエリア整備（ベンチ設置）事業	交付対象	桂川改修によって創設された、広大な河川空間を有効利用するための計画策定にあわせて、府・市及び市民と協働で事業に参画し、川を活かした新たなまちづくりを推進する。			保津川かわまちづくりに係り、右岸堤防においてベンチを設置（8基）		
	かわまちづくりエリア整備（植栽木の維持管理）事業	交付対象	桂川改修によって創設された、広大な河川空間を有効利用するための計画策定にあわせて、府・市及び市民と協働で事業に参画し、川を活かした新たなまちづくりを推進する。			保津川かわまちづくりに係る植栽木の維持管理・河川空間の整備に向けた管理		
住民協働事業	観光レンタサイクル事業	交付対象	高低差のある観光地を楽しみながら訪れてもらうため電動アシスト付き自転車を購入する。			観光レンタサイクル用の電動アシスト付き自転車購入のための補助金を交付		
成果指標①	成果指標の目標数値	観光入込客数 H26 2,408,467人から増加		成果指標の実績値 (H28年3月31日時点)		観光入込客数 H27 2,679,348人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	るるぶ京都亀岡及びアプリ版を利用した情報発信やハイキングコース等の観光資源の整備・充実を図った結果、観光入込客数が増加し、まちの活性化にも繋がった。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)				(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 亀岡市

成果指標 ②	成果指標の目標数値	観光キャンペーン実施回数 平成26年度 34回→平成27年度 増加		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	観光キャンペーン実施回数 H27年度 64回	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	魅力がある観光資源をPRするため積極的に観光キャンペーンを実施し、観光入込客数の増加やまちの活性化に繋がった。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携したことで総合的かつ計画的に特色ある地域づくりや産業・観光振興を推進した。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	レンタサイクルを活用した亀岡市内を周遊するコースの観光マップを作成することで、観光誘客に繋げる。				
	住民の自治意識を高める成果	広大な河川空間の有効利用についての計画を策定し、河川堤防のベンチ設置や植栽木の維持管理を実施したことにより、これからの地域住民と協働で推進する川を活かしたまちづくりへと繋げることができた。				
	行財政改革に資する成果	観光客増加に伴い、入湯税等の税収が増加した。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。